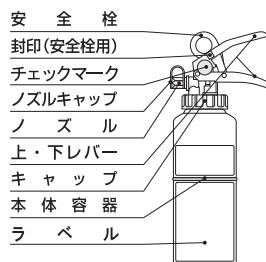
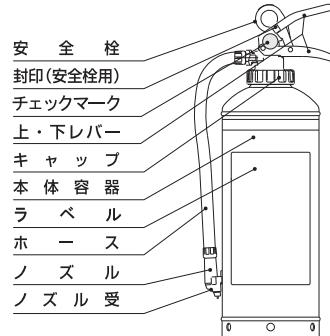


各部の名称

■加圧式の消火器 ・ホースのない消火器



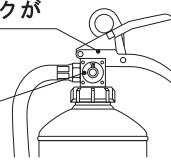
・ホースのついている消火器



■蓄圧式の消火器

※蓄圧式消火器にはチェックマークがついていません

蓄圧式消火器には指示圧力計がついています



上図は代表消火器の事例です。機種により形状・構造が異なるものがあります。

設置について

- 上から重量物が落ちて損傷しないところ、また地震や振動等で消火器が転倒や落下しないところに設置してください。
- 通行や避難するときに邪魔にならないところ、また使用するときに簡単に持ち出せるところに設置してください。
- 床に設置するときは設置台を使用してください。
 - 消火器の樹脂部・金属部・塗装部が床や壁を損傷させることができますので注意してください。
- 消火器を壁に掛けるときは、適切なフック等を用いて高さ1.5m以下のところに取り付けてください。
- 幼児の手が届かないところに設置してください。
 - ※消火器を車両に設置する場合には「自動車用消火器」をご使用ください。

- 高温多湿のところには設置しないでください。
 - 40度をこえる高温の場所(ガスコンロ・ストーブなど発熱器具の近く)では、容器内の圧力が高くなり危険をともないます。また使用温度範囲以下となる場所では満足な性能が得られません。
 - 消火器に表示されている使用温度範囲内の環境に設置してください。
 - 屋外等で直射日光や雨風・降雪にさらされる場所、厨房等で常時水を使用し湿気の多い場所、海岸近くで潮風が当たる場所、化学工場地域や温泉地帯で腐蝕性ガス(硫化水素、亜硫酸ガス、塩素ガス等)の発生のおそれがある場所では、格納箱に収納するなどの防護処置をしてください。
- ※壁掛け用フック、設置台、格納箱についてはお求めの販売店または最寄りの当社営業所にご相談ください。
- ※消火器を車両に設置する場合には「自動車用消火器」をご使用ください。

P4

正しい使いかた 消火器の使用方法にもとづき

- 消火器は大きく傾げずに使用してください。消火器を傾けると消火薬剤が十分に放出されませんので、30度以上傾けて使用しないでください。
- 持ち運ぶときは黄色の安全栓を持たずに、下レバーを持ってください。
- 上下レバーをにぎったままで安全栓を抜かないでください。
- 上下レバーをにぎるときに、手・指をはさまないように注意してください。
- 安全栓を抜いて、上下レバーをにぎるとすぐに消火薬剤を放射します。
- 力が弱い人は、消火器を床に置き、ノズルを火元に向かって、上からレバーを強く押してください。

- ホースを持たずに操作したり、手を放したりするとホースが激しく振れて大変危険です。
- 消火器のためし放射は絶対にしないでください。「イザ火災」というときに使用できません。
- 少しでも放射した消火器は使用できません。新しい消火器と交換するか、つめかえをおこなってください。
- 一度消火しても、また火がつくことがありますので、火元に向けて最後まで消火薬剤を放射してください。
- ※ストップ付きの機種では放射中にレバーをはせば放射が止まります。
- ※蓄圧式消火器には「チェックマーク」がついていません



維持・管理について

- 黄色の「安全栓」は誤作動を防ぐためのものです。不用意に抜かないでください。
- 分解・修理・改造は絶対にしないでください。
 - 消火器は圧力容器です。
 - 分解・修理・改造により破裂することがあります。
- 消火器のネジなどをゆるめないでください。
 - 消火器の部品(キャップ、ホース等)をゆるめたりすると破裂事故につながることがあります。
- 消火器を柔らかい布で、時々掃除してください。
 - 水、油、調味料(塩、醤油、味噌等)、ほこり等が付着していると腐蝕等の性能劣化をおこし永くご使用できません。
 - 汚れたときは固くしぼった布でふき乾いた布で仕上げてください。
- 掃除するときに有機溶剤(ベンジン、シンナー、ガソリン)や中性洗剤などを絶対に使用しないでください。

- ※消火器本体容器に「リサイクルシール」を貼付しています。ご不用になった消火器を処分する際に必要となりますので、はがしたり損傷したりしないでください。
- 6. 「設計標準使用期限」を確認してください。
 - 「設計標準使用期限」を過ぎたものは新しい消火器と交換するか、耐圧試験圧力値(ラベルに記載)による水圧検査をお求めの販売店にお申し付けください。
- 7. 法的設置義務のあるところでは、消防法に基づく定期点検を実施してください。
 - 半年ごとに法令で定められた点検を有資格者等により実施してください。
 - 消火器の機器点検・整備は、消防法の取り決めにより、消防設備士の資格を有する者がおこなえる業務とされています。お求めの販売店にお申し付けください。
- 8. 異常が見つかったときはすみやかに販売店に連絡し、機器点検・整備等の処置をおこなってください。

知っておいていただきたいこと

1. 適応火災について

消火器には、燃焼物の種類に応じて適応する火災が表示してあります。お求めいただいた消火器が設置場所で想定される火災の種類に適応しているものであるかご確認ください。

普通火災用(A火災)	油火災用(B火災)	電気火災用(C火災)
木材、紙、繊維等が燃える火災 	天ぷら油、灯油、ガソリン等が燃える火災 	感電の恐れがある電気製品、電気設備の火災

●粉末(ABC)消火器・・・普通火災、油火災、電気火災に適応。

2. 消火にあたって

- 逃げ道を確保しながら消火してください。また火災により発生した煙やガスは人体に有害ですので絶対に吸引しないようにしてください。
- 屋外での消火は風上よりおこなってください。近付きすぎると火傷のおそれがあります。
- 火元より3m以上離れてから放射を開始し、炎の根元を手前から掃くようにノズルを左右にふりながら放射し、順次前方に進んで消火してください。
- ガソリン等の油火災では、火元に消火薬剤が直接かかるようにして消火してください。放射の勢いで油が飛び散るおそれがありますので充分に注意してください。
- 無理な消火作業を続けることによって火災の拡大を引き起こさないよう、周囲の人に声をかけ、応援を求めるよう心掛けてください。また被害を最小限にとめるためにも早めに119番通報してください。
- 一度消えても、また火がつくことがありますので、火元に向けて最後まで消火薬剤を放射してください。
- 消火後の火元は、おき火が残っていたり、油やガスがもれていることがありますので、必ず火元を確認してください。
- 消火後すみやかに、ガスの元せん、電源を切ってください。

3. 消火薬剤について

- 消火薬剤が目に入ったときは、すみやかに水洗いし、目に痛みを感じたり充血した場合には医師の診察を受けてください。
- 消火薬剤が皮膚にかかったときは、すみやかに水洗いしてください。
- 消火薬剤のかかった食物は食べないでください。

放射後の健康被害防止の為の注意事項

- 粉末消火薬剤は消火を目的とし、安全性が高く身体への影響は軽微です。
- 通常の使用により薬剤を吸引した場合、眼・鼻・のどに違和感を生じることがあります。
- 消火薬剤の清掃には十分な換気の元で、吸引および眼・皮膚等に付着しないようマスク等の保護具を着用してください。
- 万一身体に異常を感じる場合は、医師の診断を受けてください。

社団法人 日本消火器工業会

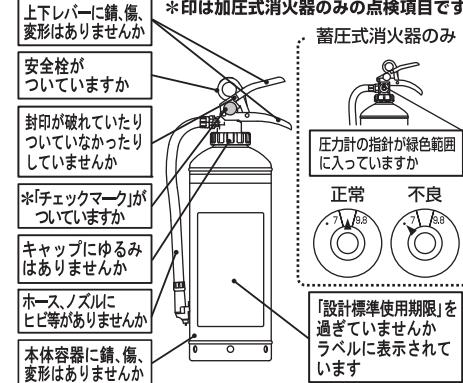
P5

点検について 消火器がいつでも使用できるように点検を実施してください。

半年ごとに外観点検をしてください。

以下の項目で異常がある場合はすみやかに販売店に連絡し、機器点検・整備等の処置をおこなってください。

*印は加圧式消火器のみの点検項目です。



※法的義務設置をしている場合は、消防法に基づく定期点検を実施してください。

異常の状況により下記のような内容が想定されます。

異常の状況	想定される内容
上下レバーに錆、傷、変形がある	使用できないおそれ
安全栓がない	使用済のおそれ 誤放射するおそれ
封印が破れている、ついていないかつたりしているませんか	使用済のおそれ
*「チェックマーク」がない	使用済のおそれ
キャップにゆるみがある	加圧式 破裂するおそれ
蓄圧式 圧力が抜け 使用できないおそれ	圧力が抜け 正常に放射されないおそれ
ホース、ノズルに異常がある	破裂するおそれ 正常に放射されないおそれ
本体容器に錆、傷、変形がある	破裂するおそれ
圧力計の指針が緑色範囲に入っています	使用できないおそれ
「設計標準使用期限」を過ぎていますか? ラベルに表示されています	性能劣化、腐蝕のおそれ

使用後について

- 消火薬剤がかかった器物はすみやかに掃除してください。

●飛散した消火薬剤をそのまま放置しておきますと、カビや金属類の腐蝕、塗装面を変質させるおそれがあります。また電気器具などは絶縁を低下させることができます。

●掃除をするときは換気をしながら、マスクやゴム手袋などの保護具を着用してください。

●よく水洗いし、水洗いできないものは水で濡らした雑巾でよくふき取ってください。

- 消火薬剤がかかった電気機器は電源を遮断してから掃除をおこなってください。

また、電気絶縁性が低下していることがありますので、専門の業者に点検を依頼してから、通電してください。

- 使用後の消火器はすみやかに販売店に再充てんを依頼し、元のように設置してください。

●一度放射したものは、中に消火薬剤が残っていても、すぐに整備・再充てんしてください。

●外観・機能に異常がなければ再充てんして使用できます。

お求めの販売店にご相談ください。

●消火器の再充てんをおこなうには消防設備士の資格が必要です。

お求めの販売店にお申し付けください。

- 消火器は、法に従って廃棄処分しなければなりません。

●ご不用になった消火器を処分される場合は、お求めの販売店または最寄りの当社営業所にお問い合わせください。

●消火器を不法に捨てたり、放置すると法律で罰せられる場合があります。

消火器のリサイクルにご協力ください。

P6

P7